

奥山埋立処分地

埋立処分の終了から廃止までの間の維持管理計画

城南衛生管理組合

## 目次

1	埋立終了後の維持管理計画	P-1~3
2	埋立ごみの履歴	
	(1) 埋立ごみ種別及び処分量 (別紙-1)	P-4
	(2) 埋立ごみ履歴 (平面図 別図-1)	P-5
	(3) 埋立ごみ履歴 (断面図 別図-2)	P-6
	(4) 埋立ごみ履歴 (横断面図 別図-3・別図-4)	P-7~8
3	維持管理計画における採水及び調査位置図	
	(1) 水質分析 (浸出水・地下水・放流水) 採水位置図 (別図-5)	P-9
	(2) 埋立地湧出ガス、埋立地内部温度 調査位置図 (別図-6)	P-10
	(3) 埋立地表層の調査位置図 (別図-7)	P-11
4	測定項目及び頻度	
	(1) 浸出水、放流水 (別表1)	P-12
	(2) 地下水 (別表2)	P-13
	(3) 湧出ガス、温度 (別表3)	P-13

## 1. 埋立終了後の維持管理計画

### (1) 環境モニタリング調査

埋立処分地廃止前に1回、各地区の中央部において、埋立廃棄物の試料を採取し、埋立廃棄物の安定化の状況を調査する。

#### ア 試料の採取方法

試料の採取は、試料をできるだけ攪乱しないように分析等に必要な量を採取する。

埋立物の採取深度は5 m程度とし、採取した試料は、空気になるべく触れないように保存・運搬し、早急に分析を行う。

#### イ 埋立廃棄物の分析項目

- a. 組成 b. 有機物含有量 c. 水分 d. 色 e. 臭気  
f. 雑物の元素分析 (C/N) g. 細菌類 h. 侵食性成分

#### ウ 分析頻度

埋立処分地廃止前に1回行う。

### (2) 浸出水の分析調査

#### ア 浸出水の採水地点

浸出水の採取は、跡地内部の状況を反映した状態で採取できる地点として、排水処理施設の原水受入口 (A-1 地区・A-2 地区・B 地区) と C 地区出口マンホールで採取を行う (別図 5 参照)。

#### イ 浸出水の分析項目及び分析頻度

浸出水の分析項目及び分析頻度は、別表 1 のとおりとする。

### (3) 放流水の分析調査

#### ア 放流水の採水地点

放流水の採取は、排水処理施設の処理水槽で行う (別図 5 参照)。

#### イ 放流水の分析項目及び分析頻度

放流水の分析項目及び分析頻度は、別表 1 のとおりとする。

### (4) 地下水の分析調査

ア 地下水の採水地点

地下水の採取は、A-1地区・A-2地区・B地区の2カ所の観測井戸とC地区の採水柵で採取を行う（別図5参照）。

イ 地下水の分析項目及び分析頻度

地下水の分析項目及び分析頻度は、別表2のとおりとする。

(5) 湧出ガスの調査

ア 湧出ガスの調査位置

湧出ガスの調査は、A-1地区・A-2地区・B地区で計3カ所及びC地区1カ所で行う（別図6参照）。

イ 湧出ガスの調査項目及び調査頻度

湧出ガスの調査項目及び調査頻度は、別表3のとおりとする。

(6) 埋立地内部温度測定調査

ア 埋立地内部温度調査位置

埋立地内部温度調査は、A-1地区・A-2地区・B地区で計3カ所及びC地区1カ所において、深さ1mごとの測定調査を行う（別図6参照）。

イ 埋立地内部温度測定調査頻度

埋立地内部温度測定調査頻度は、別表3のとおりとする。

(7) 埋立処分地地表層の調査

ア 沈下量の測定地点

沈下量の測定は、原則として廃棄物の安定化による沈下の様子を適正に把握できる法肩部分や天端の中心地点とし、A-1地区・A-2地区・B地区7カ所及びC地区4カ所において測定を行う（別図7参照）。

イ 測定方法及び頻度

沈下量は、沈下杭を設置して測定をし、測定は、1回/年以上行う。

(8) 植生の調査

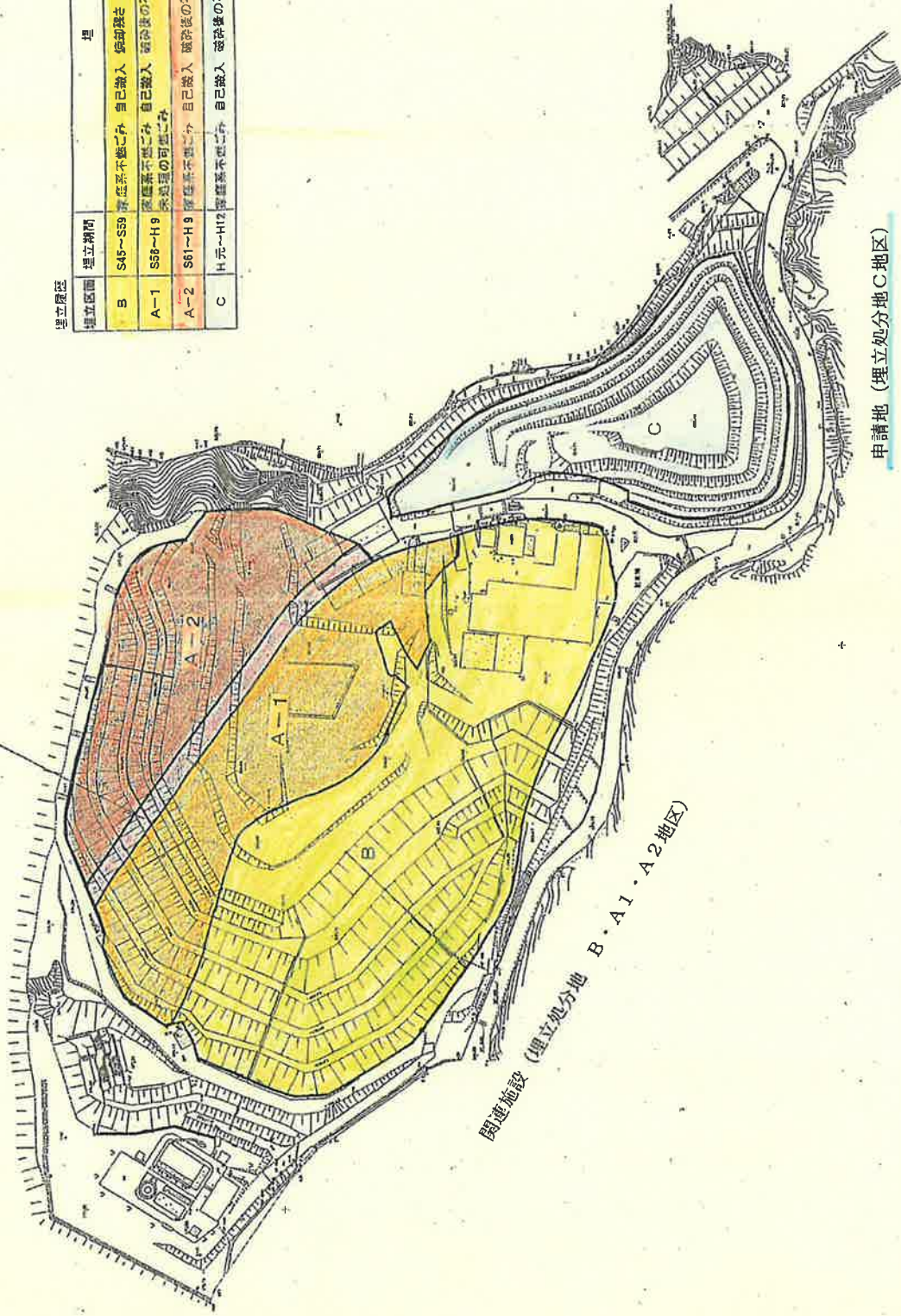
地表面には、生育地点の環境を強く反映する「指標植物」が生育することから、地表面の植生を観察することにより、処分地の状況の把握を行い、覆土表面にクラックが入っていないか調査を行う。



# 埋立ごみの履歴

(2) 埋立ごみの履歴 (平面図)

A-2地区の埋立に合わせて  
地山を切土しごみを埋め立て



関連施設 (埋立処分地 B・A1・A2地区)

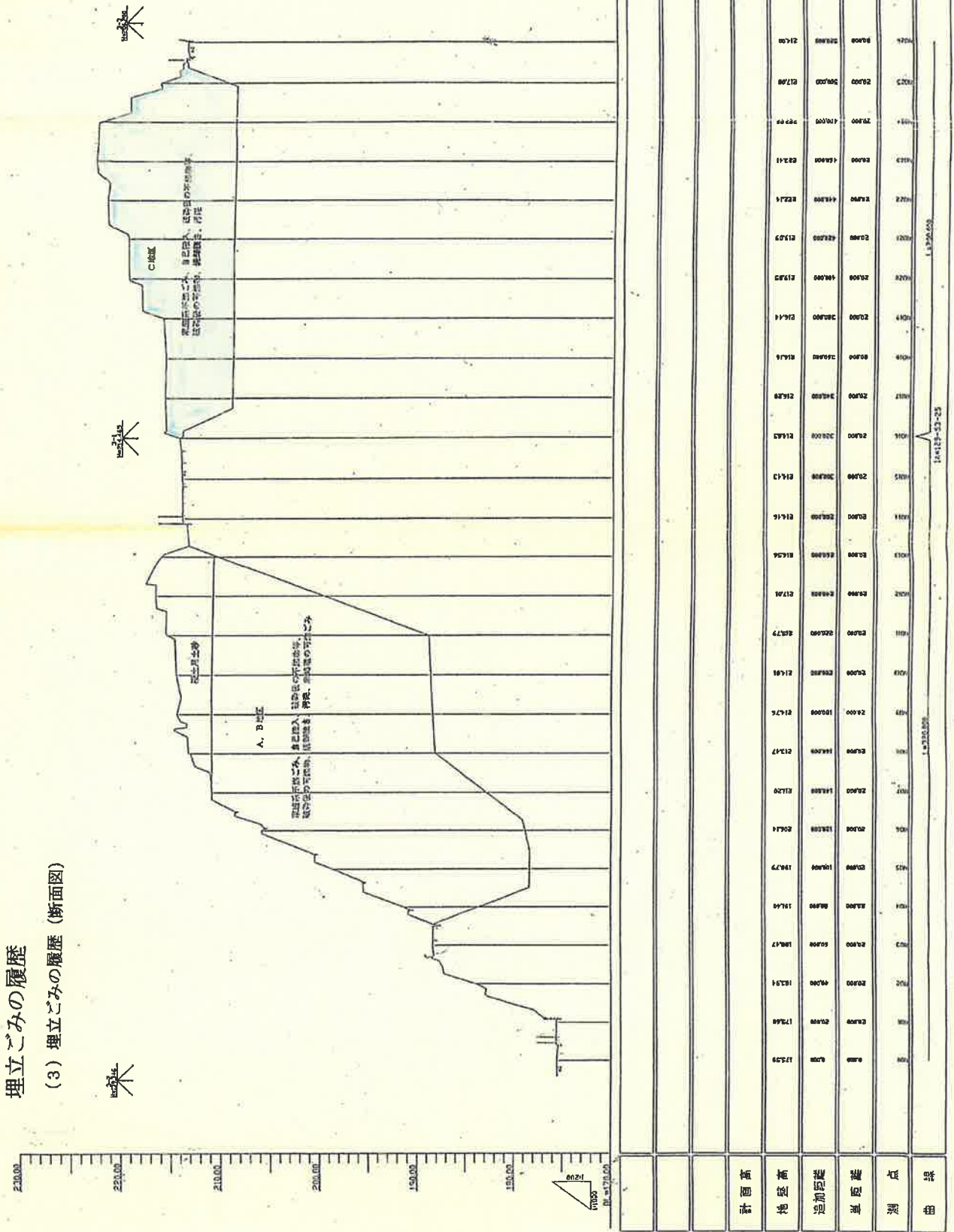
申請地 (埋立処分地C地区)

別図 1

埋立区分	埋立期間	埋立物
B	S45~S59	埋立系不燃ごみ 自己搬入 廃却後未処理の可燃ごみ
A-1	S59~H9	埋立系不燃ごみ 自己搬入 焼却後の不燃物等 焼却後の可燃物 焼却後未処理の可燃ごみ
A-2	S61~H9	埋立系不燃ごみ 自己搬入 焼却後の不燃物等 焼却後の可燃物 焼却後未処理の可燃ごみ
C	H元~H12	埋立系不燃ごみ 自己搬入 焼却後の不燃物等 焼却後の可燃物 焼却後未処理の可燃ごみ

埋立ごみの履歴

(3) 埋立ごみの履歴 (断面図)





埋立ごみの履歴

(4) 埋立ごみの履歴 (横断面)

別図 3

ND22  
Present  
P/A



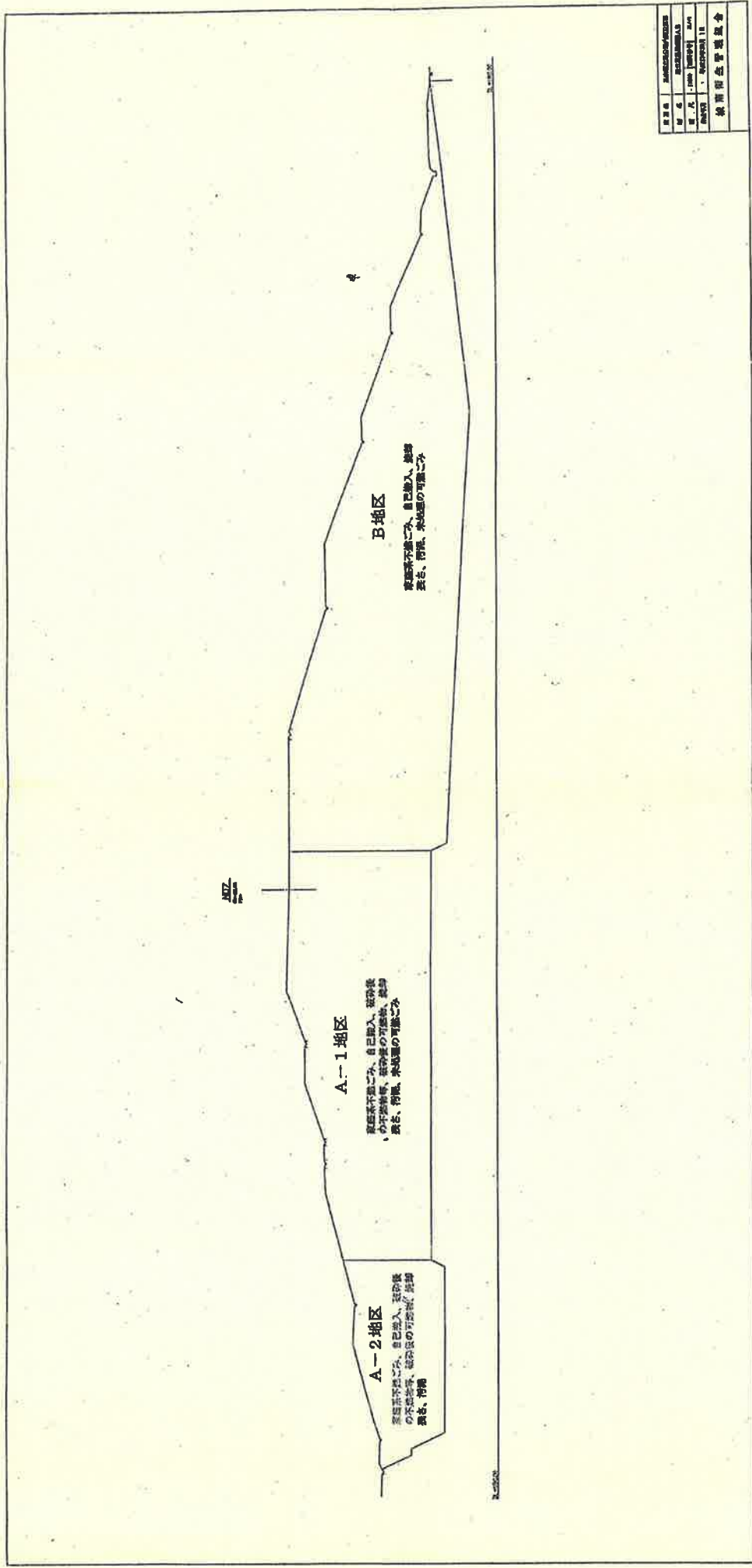
RL+200.00

調査号	岡山埋立処分場中間調査		
区名	埋立処分場C		
調査区	調査区	調査区	調査区
調査員	平塚山智博 1日		
城南衛生管理組合			

埋立ごみの履歴

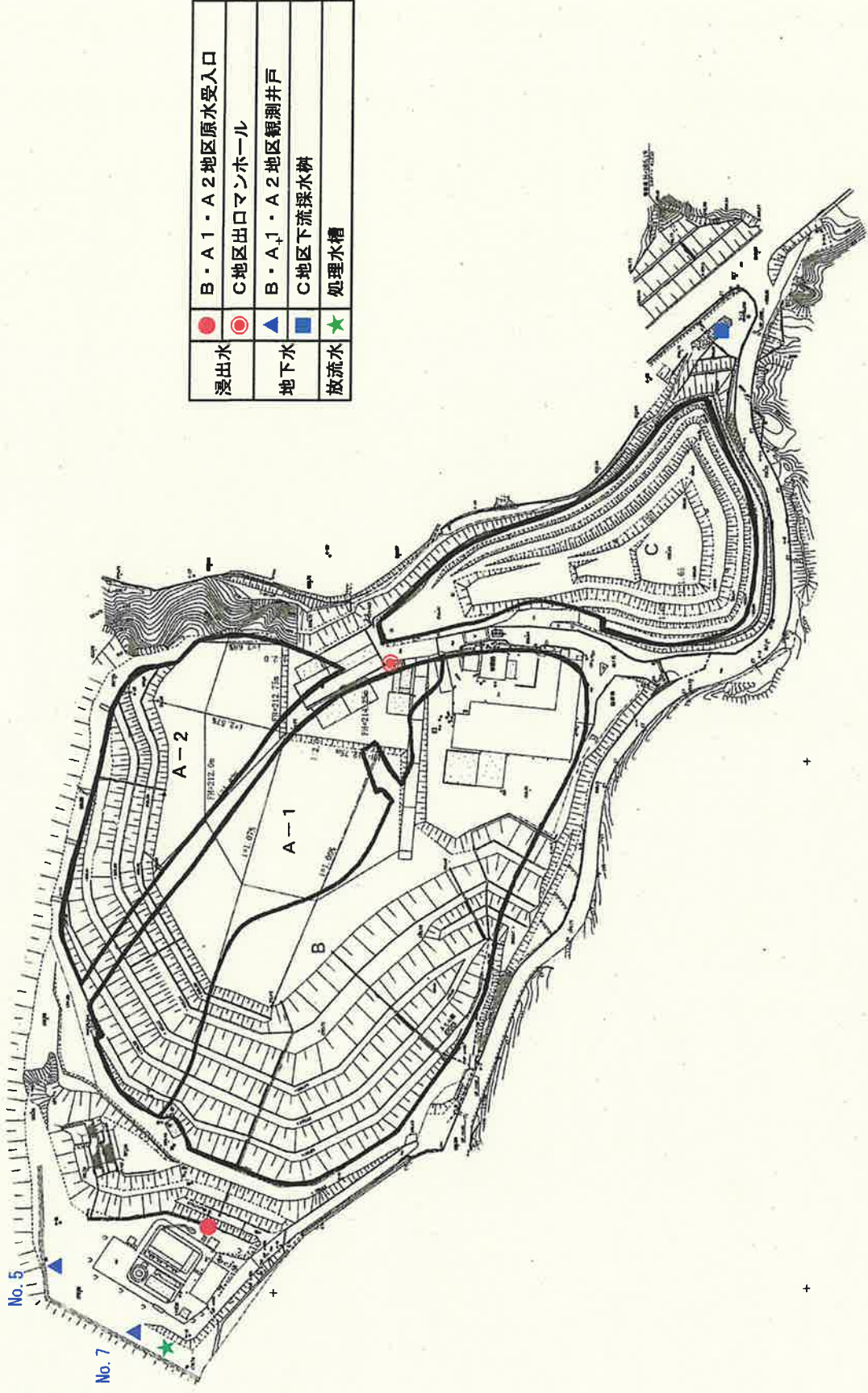
(4) 埋立ごみの履歴 (横断面)

別図 4



維持管理計画

(1) 水質分析 採水位置図



維持管理計画

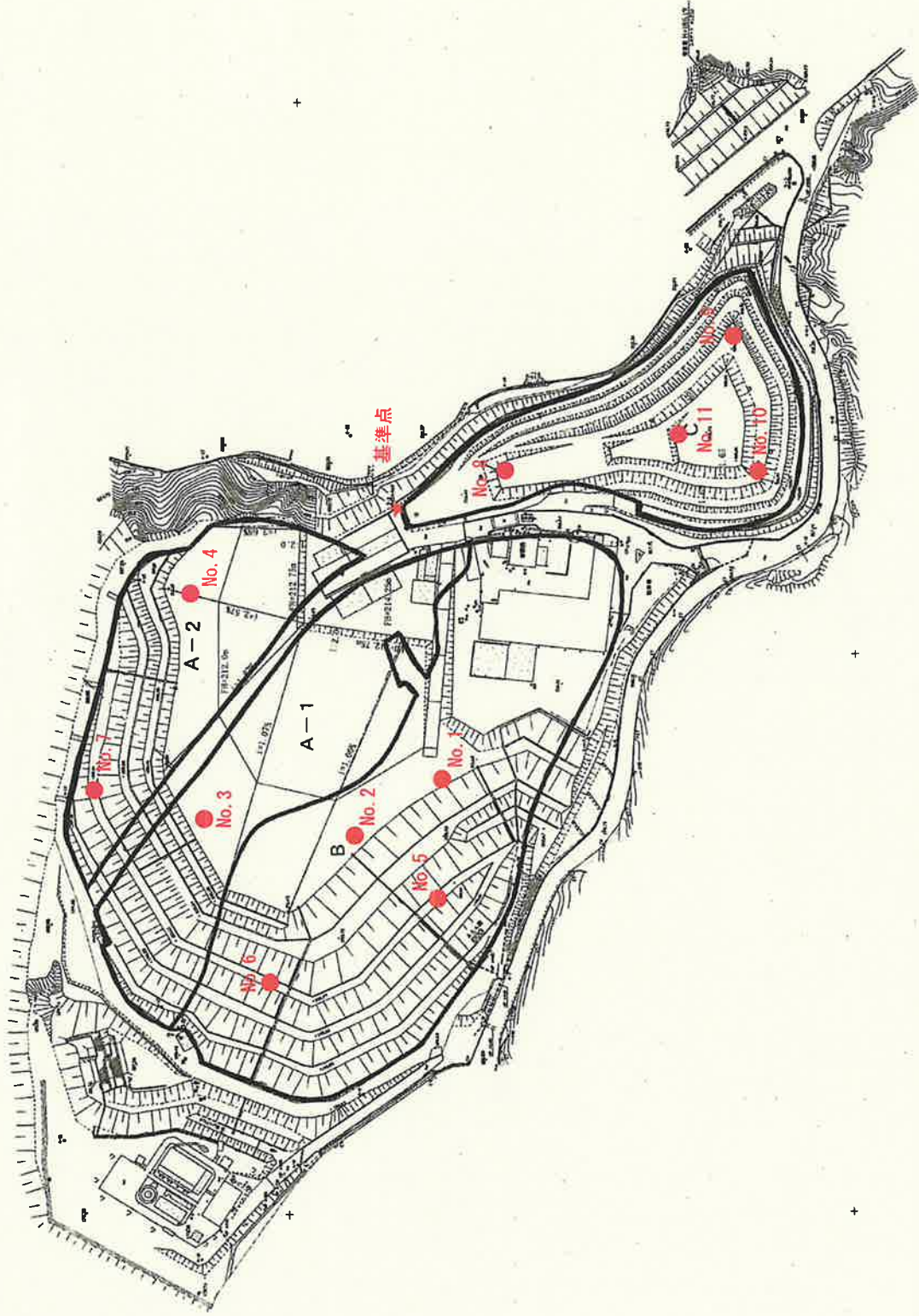
(2) 埋立地湧出ガス、埋立地内部温度 調査位置図



S = 1/2,000

維持管理計画

(3) 埋立地地表層 調査位置図



S = 1/2,000

浸出水（原水受入口及びC地区出口マンホール）、放流水（放流水槽）

分析項目	分析頻度	
	浸出水	放流水
アルキル水銀化合物	1回/年	1回/年
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	1回/年	1回/年
カドミウム及びその化合物	1回/年	1回/年
鉛及びその化合物	1回/年	1回/年
有機リン化合物	1回/年	1回/年
六価クロム化合物	1回/年	1回/年
砒素及びその化合物	1回/年	1回/年
シアン化合物	1回/年	1回/年
ポリ塩化ビフェニル	1回/年	1回/年
トリクロロエチレン	1回/年	1回/年
テトラクロロエチレン	1回/年	1回/年
ジクロロメタン	1回/年	1回/年
四塩化炭素	1回/年	1回/年
1,2-ジクロロエタン	1回/年	1回/年
1,1-ジクロロエチレン	1回/年	1回/年
シス-1,2-ジクロロエチレン	1回/年	1回/年
1,1,1-トリクロロエタン	1回/年	1回/年
1,1,2-トリクロロエタン	1回/年	1回/年
1,3-ジクロロプロペン	1回/年	1回/年
チウラム	1回/年	1回/年
シマジン	1回/年	1回/年
チオベンカルブ	1回/年	1回/年
ベンゼン	1回/年	1回/年
セレン及びその化合物	1回/年	1回/年
1,4-ジオキサン	1回/年	1回/年
ホウ素及びその化合物	1回/年	1回/年
フッ素及びその化合物	1回/年	1回/年
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	1回/年	1回/年
水素イオン濃度	1回/3カ月	1回/月
生物学的酸素要求量	1回/3カ月	1回/月
化学的酸素要求量	1回/3カ月	放流7日毎 <sup>※1</sup>
浮遊物質	1回/3カ月	1回/月
ノルマルヘキサン抽出物質含有量（鉱油類含有量）	1回/6カ月	1回/月
ノルマルヘキサン抽出物質含有量（動植物油脂類含有量）	1回/6カ月	1回/月
フェノール類含有量	1回/6カ月	1回/月
銅含有量	1回/6カ月	1回/月
亜鉛含有量	1回/6カ月	1回/月
溶解性鉄含有量	1回/6カ月	1回/月
溶解性マンガン含有量	1回/6カ月	1回/月
クロム含有量	1回/6カ月	1回/月
大腸菌群数	1回/6カ月	1回/月
窒素含有量	1回/3カ月	放流14日毎 <sup>※2</sup>
リン含有量	1回/3カ月	放流14日毎 <sup>※2</sup>
ニッケル含有量	1回/6カ月	1回/月
ダイオキシン類	1回/年	1回/年

※1 7日を超えない排水の期間ごとに1回以上（総量規制に係る汚濁負荷量の測定に合わせる）

※2 14日を超えない排水の期間ごとに1回以上（総量規制に係る汚濁負荷量の測定に合わせる）

【別表2】

地下水（観測井戸No.5、No.7及び採水樹）

分析項目	分析頻度
アルキル水銀	1回/年
総水銀	1回/年
カドミウム	1回/年
鉛	1回/年
六価クロム	1回/年
砒素	1回/年
全シアン	1回/年
ポリ塩化ビフェニル	1回/年
トリクロロエチレン	1回/年
テトラクロロエチレン	1回/年
ジクロロメタン	1回/年
四塩化炭素	1回/年
1,2-ジクロロエタン	1回/年
1,1-ジクロロエチレン	1回/年
1,2-ジクロロエチレン	1回/年
1,1,1-トリクロロエタン	1回/年
1,1,2-トリクロロエタン	1回/年
1,3-ジクロロプロペン	1回/年
チウラム	1回/年
シマジン	1回/年
チオベンカルブ	1回/年
ベンゼン	1回/年
セレン	1回/年
1,4-ジオキサン	1回/年
クロロエチレン	1回/年
生物化学的酸素要求量	1回/年
フッ素	1回/年
ホウ素	1回/年
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1回/年
塩化物イオン	1回/月
ダイオキシン類	1回/年

【別表3】

湧出ガス、温度（ガス抜き管4カ所）

調査項目	調査頻度
メタン	4回/年
二酸化炭素	4回/年
硫化水素	4回/年
アンモニア	4回/年
酸素・窒素	4回/年
温度（深さ1mごと）	4回/年